

**■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。**

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年11月12日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（11月10日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

---

## スパークス・アジア中東株式ファンド （資産成長型）

---

### 第9期 運用報告書（全体版）

（決算日 2017年11月10日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)』は、このたび、第9期の決算を行いました。ここに第9期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5期(2013年11月11日)	22,707	0	33.2	844.3	36.9	0.0	94.0	23
6期(2014年11月10日)	27,343	0	20.4	1,024.3	21.3	0.0	79.8	36
7期(2015年11月10日)	26,935	0	△ 1.5	995.3	△ 2.8	0.0	90.5	34
8期(2016年11月10日)	23,197	0	△ 13.9	899.1	△ 9.7	0.0	86.1	31
9期(2017年11月10日)	29,288	0	26.3	1,307.9	45.5	0.0	84.8	39

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2016年11月10日	円	%		%	%	%
	23,197	—	899.1	—	0.0	86.1
11月末	24,471	5.5	973.3	8.3	0.0	83.6
12月末	24,488	5.6	988.5	9.9	0.0	91.5
2017年 1月末	25,561	10.2	1,030.9	14.7	0.0	91.8
2月末	25,611	10.4	1,047.8	16.5	0.0	91.0
3月末	26,328	13.5	1,078.3	19.9	0.0	90.6
4月末	26,781	15.5	1,088.5	21.1	0.0	91.0
5月末	27,110	16.9	1,115.6	24.1	0.0	88.5
6月末	27,917	20.3	1,160.2	29.0	0.0	88.0
7月末	27,905	20.3	1,188.9	32.2	0.0	86.2
8月末	27,789	19.8	1,196.1	33.0	0.0	84.2
9月末	27,898	20.3	1,214.7	35.1	0.0	81.7
10月末	28,722	23.8	1,273.4	41.6	0.0	81.7
(期末) 2017年11月10日	29,288	26.3	1,307.9	45.5	0.0	84.8

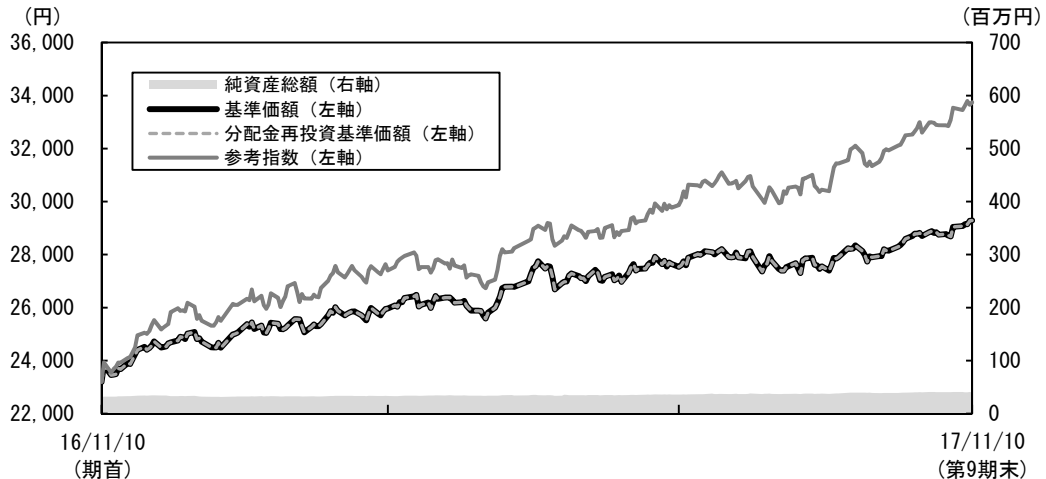
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2016年11月11日～2017年11月10日)

基準価額は期首に比べ26.3%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



第9期首 : 23,197円

第9期末 : 29,288円(既払分配金0円)

騰落率 : 26.3%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
- ※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- ※ 参考指数は期首(2016年11月10日)の基準価額に合わせて指数化しております。

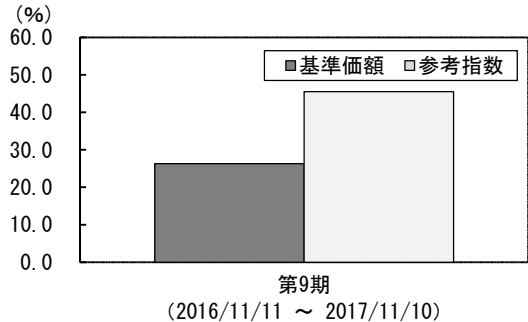
2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドが投資している多くの市場が上昇し、基準価額の上昇要因となりました。また、多くの通貨に対して円安となり、基準価額にプラスの要因となりました。

### 3)ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。  
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 投資環境

### (アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式)

FRB(米国連邦準備制度理事会)は0.25%の追加利上げに踏み切り、米国経済の底堅さに対する自信を示しました。経済成長と金利は世界的に上昇傾向にあり、それが概ねアジア経済の追い風となっています。中国の2017年第1四半期GDP(国内総生産)成長率は予想を上回って6.9%となるなど、アジア全体の経済指標が改善していること、企業業績の上方修正が相次いでいることから、アジアの多くの市場が上昇しました。こうした動きと中国の一带一路構想の影響で、ASEAN諸国に多額の対外直接投資(FDI)が行われ、アジア地域のインフラ投資が加速しています。韓国と台湾のテクノロジー企業はデータサーバ、有機ELディスプレイ、人工知能、IoT(モノのインターネット)デバイスから生まれるトレンドや需要の恩恵を受けました。日本銀行は2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入しているため、期を通じて多くの通貨に対して円は下落しました。

### (国内債券・短期金融市場)

2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

## ■ ポートフォリオ

### < スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) >

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いませんでした。

### < SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

### (主なプラス要因)

Tencent(中国/情報技術)は、投資家がオンラインゲーム、WeChat、TenPayにおける同社の支配的な立場を引き続き好感していることから上昇しました。Global Logistic Properties(シンガポール/不動産)は、中国政府系ファンドの中国投資(CIC)など投資家グループが同社の買収に関心を示しているとの報道を受けて上昇しました。家電メーカーで物流事業も手掛けるHaier Electronics(香港/一般消費財)は、同社の2016年決算は洗濯機と温水器の売上が好調のため上昇しました。Taiwan Semiconductor Manufacturing(台湾/情報技術)は米国アップル社からの受注が好調で2017年第3四半期決算で全事業部門の売上高が増加したことなどから上昇しました。

### (主なマイナス要因)

Telstra(オーストラリア/電気通信サービス)は全国ブロードバンドネットワーク(NBN)計画実施後の契約者数の伸び悩みと将来的なキャッシュフローに対する懸念が足かせとなり、下落しました。China State Construction(香港/資本財)は負債比率の低下を目的とする新株予約権無償割当を発表したことにより下落しました。

### < スパークス・マネー・マザーファンド >

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

## ■ 今後の運用方針

### < スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

### < SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

### < スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ■ 分配金

当ファンドは中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っていることから、分配金のお支払いは見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第9期 (2016年11月11日～ 2017年11月10日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— ( —%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	19,287

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第9期 2016年11月11日～2017年11月10日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 )	247円 ( 49 )	0.924% (0.183)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	( 188 )	(0.704)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 10 )	(0.037)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	29	0.109	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 29 )	(0.109)	・ファンドの監査人等に対する報酬および費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	276	1.033	
期中の平均基準価額は26,715円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。(親投資信託を除く)

■ 売買および取引の状況 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

投資証券

銘 柄 名	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 0.131	千円 1,270	千口 0.15	千円 1,461

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。



■ 主要な売買銘柄 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

投資証券

買 付			売 付		
銘 柄	口 数	金 額	銘 柄	口 数	金 額
	千口	千円		千口	千円
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.131	1,270	SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.15	1,461

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

- 当期中の利害関係人との取引状況  
当期中における利害関係人との取引はありません。
- 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種 類	当 作 成 期		
	買 付 額	売 付 額	当作成期末保有額
	百万円	百万円	百万円
投 資 証 券	1	1	33

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社  
の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との  
当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得  
及び処分の状況 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2017年11月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		前期末	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		3	3	33,827	84.8
合計	口数・金額	3	3	33,827	—
	銘柄数<比率>	—	—	1銘柄	<84.8%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	前期末	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
スパークス・マネー・マザーファンド	10	10	10

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当期末の受益権総口数は、9,974千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2017年11月10日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2017年11月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	33,827	81.1
スパークス・マネー・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	7,889	18.9
投資信託財産総額	41,726	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	41,726,068 円
コール・ローン等	7,888,057
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	10,809
投資証券(評価額)	33,827,202
(B) 負 債	1,830,321
未 払 解 約 金	1,636,732
未 払 信 託 報 酬	173,271
未 払 利 息	21
そ の 他 未 払 費 用	20,297
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	39,895,747
元 本	13,622,065
次 期 繰 越 損 益 金	26,273,682
(D) 受 益 権 総 口 数	13,622,065 口
1万口当たり基準価額 ( C / D )	29,288 円

■ 損益の状況

当期 (自2016年11月11日 至2017年11月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,045,024 円
受 取 配 当 金	1,048,787
支 払 利 息	△ 3,763
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	5,179,934
売 買 益	7,162,136
売 買 損	△ 1,982,202
(C) 信 託 報 酬 等	△ 363,413
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	5,861,545
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 774,142
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	21,186,279
( 配 当 等 相 当 額 )	( 18,199,861 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 2,986,418 )
(G) 合 計 ( D + E + F )	26,273,682
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	26,273,682
追 加 信 託 差 損 益 金	21,186,279
( 配 当 等 相 当 額 )	( 18,199,861 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 2,986,418 )
分 配 準 備 積 立 金	5,087,403
繰 越 損 益 金	0

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

①期首元本額	13,423,605 円
期中追加設定元本額	8,189,087 円
期中一部解約元本額	7,990,627 円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	第 9 期
費用控除後の配当等収益額	A 984,007円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B 1,631,473円
収益調整金額	C 21,186,279円
分配準備積立金額	D 2,471,923円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E 26,273,682円
当ファンドの期末残存口数	F 13,622,065口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G 19,287.59円
1万口当たり分配金額	H -円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I -円

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

<参考情報>

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	HSBC Trustee (Cayman) Limited** ※当ファンドの受託会社は、2017年10月31日付でBank of Bermuda (Cayman) LimitedからHSBC Trustee (Cayman) Limitedに変更されました。
受託会社代理人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保 管 会 社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2017年11月9日現在)

(1)外国株式等

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(オーストラリア市場)	百株	千豪ドル	千円		
Aristocrat Leisure Ltd	270	643	56,073	娯楽用品	
Ausnet Services	3,893	714	62,286	電力	
CSL Ltd	58	850	74,097	バイオテクノロジー	
Sydney Airport (Stapled)	859	632	55,116	その他輸送	
Telstra Corp Ltd	1,759	610	53,202	主要通信	
Transurban Group	1,180	1,511	131,731	その他輸送	
小計	株数・金額	8,019	4,961	432,505	
	銘柄数<比率>	6銘柄	—	<14.6%>	
(中国市場)	百株	千人民元	千円		
Zhengzhou Yutong Bus Co Ltd A Shrs	959	2,461	42,096	建設・農業機械	
小計	株数・金額	959	2,461	42,096	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<1.4%>	
(香港市場)	百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd	2,314	14,173	206,342	生命・健康保険	
CK Asset Holdings Ltd	485	3,216	46,814	不動産開発	
China Mobile Ltd	495	3,943	57,400	無線通信	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)	8,483	9,127	132,879	建設・土木	
Guangdong Investment Ltd	7,180	8,228	119,792	コングロマリット	
Haier Electronics Group Co Ltd	3,800	8,702	126,689	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)	236	5,437	79,161	投資銀行・ブローカー	
Jiangsu Expressway Co Ltd H Shrs	1,620	1,879	27,358	その他輸送	
Nexteer Automotive Group Ltd	2,490	3,969	57,784	自動車部品:OEM	
Power Assets Holdings Ltd	885	5,965	86,840	電力	
Samsonite International	957	3,225	46,953	その他耐久消費財	
Tencent Holdings Ltd	321	12,448	181,231	インターネット・ソフトウェアサービス	
Travelsky Technology Ltd H Shrs	870	1,766	25,712	その他商業サービス	
Zhejiang Expressway Co Ltd H Shrs	8,020	7,475	108,820	その他輸送	
小計	株数・金額	38,156	89,554	1,303,774	
	銘柄数<比率>	14銘柄	—	<44.1%>	
(インドネシア市場)	百株	千インドネシアルピア	千円		
Bumi Serpong Damai Tbk PT	21,393	3,700,989	31,091	不動産開発	
Matahari Department Store Tbk	3,183	3,183,000	26,739	デパート	
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk	11,148	4,637,568	38,959	主要通信	
小計	株数・金額	35,724	11,521,557	96,789	
	銘柄数<比率>	3銘柄	—	<3.3%>	
(インド市場)	百株	千インドルピー	千円		
ITC Ltd (DMT) (NSI)	604	15,770	27,557	タバコ	
小計	株数・金額	604	15,770	27,557	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<0.9%>	
(韓国市場)	百株	千韓国ウォン	千円		
KT&G Corp	26	300,456	30,536	タバコ	

## スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(韓国市場)	百株	千韓国ウォン	千円		
Kangwon Land Inc	199	711,310	72,292	カジノ・ギャンブル	
LG Household & Health Care Ltd	4	550,000	55,898	家庭用品・パーソナルケア	
Samsung Electronics Co Ltd	3	788,760	80,163	通信機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	232 4銘柄	2,350,526 —	238,888 < 8.1%>	
(マレーシア市場)	百株	千マレーシアリングgit	千円		
Malayan Banking	2,288	2,096	56,440	地方銀行	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,288 1銘柄	2,096 —	56,440 < 1.9%>	
(フィリピン市場)	百株	千フィリピンペソ	千円		
Puregold Price Club Inc	3,534	17,988	39,838	食品小売り	
Universal Robina Corp	925	12,695	28,115	製菓業	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,459 2銘柄	30,683 —	67,953 < 2.3%>	
(シンガポール市場)	百株	千シンガポールドル	千円		
ComfortDelgro Corp Ltd	1,161	233	19,452	その他輸送	
Singapore Post Ltd	1,316	168	14,041	航空貨物・航空輸送	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,477 2銘柄	402 —	33,493 < 1.1%>	
(シンガポール米ドル市場)	百株	千米ドル	千円		
Jardine Matheson Holdings Ltd (SGX)	39	256	29,087	コングロマリット	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	39 1銘柄	256 —	29,087 < 1.0%>	
(タイ市場)	百株	千タイバーツ	千円		
Advanced Info Service Pcl NVDR	932	16,823	57,685	無線通信	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	932 1銘柄	16,823 —	57,685 < 1.9%>	
(台湾市場)	百株	千台湾ドル	千円		
Catcher Technology Co Ltd	150	4,943	18,593	金属加工	
MediaTek Inc	730	24,163	90,899	半導体	
President Chain Store Corp	560	15,680	58,987	食品小売り	
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	2,090	50,369	189,485	半導体	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,530 4銘柄	95,155 —	357,964 <12.1%>	
(米国 ADR 市場)	百株	千米ドル	千円		
JD.com Inc ADR (1 ADR Reprs 2 Ord Shrs)	50	200	22,675	インターネット販売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	50 1銘柄	200 —	22,675 < 0.8%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	97,469 41銘柄	— —	2,766,907 <93.5%>	

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

(2) 株価連動証券

銘 柄	種 類	額面/証券数	評 価 額		原 証 券 情 報	
			外貨建金額	基準通貨建金額	市 場	業 種
Deutsche Bank (Air Arabia) CWts 08/23/2027	Equity Warrants	千 608	千米ドル 202	千円 22,931	ドバイ	旅客航空輸送業
Deutsche Bank (Emirates NBD PJSC) CWts 12/27/2017	Equity Warrants	85	188	21,328	ドバイ	地方銀行
Deutsche Bank (Maroc Telecom (CAS)) CWts 12/27/2017	Equity Warrants	25	362	41,084	カサブランカ	主要通信
合 計	株 数 ・ 金 額	718	752	85,342		
	銘 柄 数 < 比 率 >	3 銘柄	—	< 2.9% >		

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 原証券情報は、各株価連動証券が値動きを参照している株式銘柄の情報を掲載しています。

(注4) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 平成28年11月10日  
至 平成29年11月 9日

(単位：千円)

収益		
受取配当金		111,957
受取利息		30
解約差益		0
その他収益		0
	収益計	<u>111,987</u>
費用		
支払利息		0
受託会社報酬		28,298
監査報酬		3,945
源泉税		7,761
管理運営会社報酬		29,544
管理事務報酬		3,907
設立費償却		0
その他費用		3,984
	費用計	<u>77,442</u>
純投資損益		<u>34,545</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益		
投資有価証券売買損益		230,669
為替差損益		6,018
		<u>236,688</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減		
有価証券未実現純評価損益増減		547,689
為替未実現純評価損益増減		1,927
		<u>549,617</u>
営業活動による純資産の純増減額		<u>820,851</u>

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。



## スパークス・マネー・マザーファンド

### 第 10 期

決算日 2017年11月10日

(計算期間：2016年11月11日～2017年11月10日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	決算日毎年11月10日(休業日の場合は翌営業日) 収益分配は行いません。

### スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

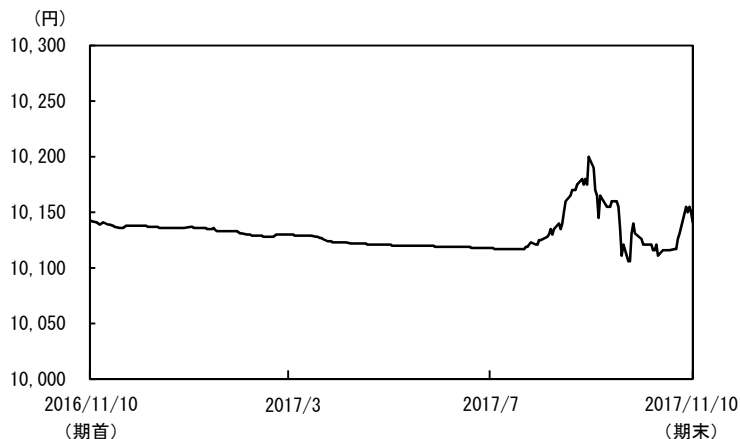
決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
6期(2013年11月11日)	円 10,118	% 0.1	% 59.6	百万円 33
7期(2014年11月10日)	10,124	0.1	73.7	13
8期(2015年11月10日)	10,125	0.0	73.8	13
9期(2016年11月10日)	10,143	0.2	99.4	10
10期(2017年11月10日)	10,141	0.0	99.5	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期首) 2016年11月10日	円 10,143	% -	% 99.4
11月末	10,136	△0.1	99.4
12月末	10,136	△0.1	99.3
2017年 1月末	10,133	△0.1	99.3
2月末	10,128	△0.1	99.3
3月末	10,126	△0.2	99.3
4月末	10,121	△0.2	99.3
5月末	10,120	△0.2	99.3
6月末	10,118	△0.2	99.3
7月末	10,117	△0.3	47.5
8月末	10,170	0.3	99.5
9月末	10,121	△0.2	99.5
10月末	10,117	△0.3	99.5
(期末) 2017年11月10日	10,141	0.0	99.5

(注) 騰落率は期首比です。

## ■ 基準価額の推移



## ■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

## ■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 10,026	千円 — (10,000)

■ 利害関係人との取引状況等 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

- (1) 当期中の利害関係人との取引状況  
当期中における利害関係人との取引はありません。
  - (2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高  
該当事項はありません。
- (注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2016年11月11日から2017年11月10日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2017年11月10日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,974千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	10,000	10,066	99.5	—	99.5	—	—
合 計	10,000	10,066	99.5	—	99.5	—	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。—印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	10,066	2027/6/20
合 計		—	10,000	10,066	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2017年11月10日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2017年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	10,066	99.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	49	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	10,115	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	10,115,351 円
コール・ローン等	44,573
公社債（評価額）	10,066,900
未 収 利 息	2,673
前 払 費 用	1,205
(B)負 債	0
(C)純 資 産 総 額(A-B)	10,115,351
元 本	9,974,992
次 期 繰 越 損 益 金	140,359
(D)受 益 権 総 口 数	9,974,992 口
1 万口当たり基準価額(C/D)	10,141 円

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	9,955,682 円
期中追加設定元本額	10,872,789 円
期中一部解約元本額	10,853,479 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型）	9,964,333 円
スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型）	10,659 円

■ 損益の状況

当期（自2016年11月11日 至2017年11月10日）

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	10,024 円
受 取 利 息	10,324
支 払 利 息	△ 300
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	7,500
売 買 益	40,900
売 買 損	△ 33,400
(C)当 期 損 益 金(A+B)	17,524
(D)前 期 繰 越 損 益 金	142,145
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	127,211
(F)解 約 差 損 益 金	△ 146,521
(G)合 計(C+D+E+F)	140,359
次 期 繰 越 損 益 金(G)	140,359

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。